

「ものづくりのまち」燕市の象徴として JR 燕三条駅に「ジャンボナイフ&フォーク」を展示 － 大迫力の燕市産金属洋食器で燕市を PR －

高度で多様な金属加工技術の集積した「ものづくりのまち」燕市。その PR のため、新年度より「ものづくりまち」を象徴するモニュメントとして「ジャンボナイフ&フォーク」を、JR 燕三条駅の新幹線改札内に展示します。燕三条駅はこの地を訪れる人々の玄関口であり、何気なく立ち寄る多くの方が、燕市を知っていただくきっかけになればと考えています。

【展示期間・場所】

- 1.日 時：4 月 1 日（月）から
- 2.場 所：JR 燕三条駅 2F 新幹線改札内コンコース

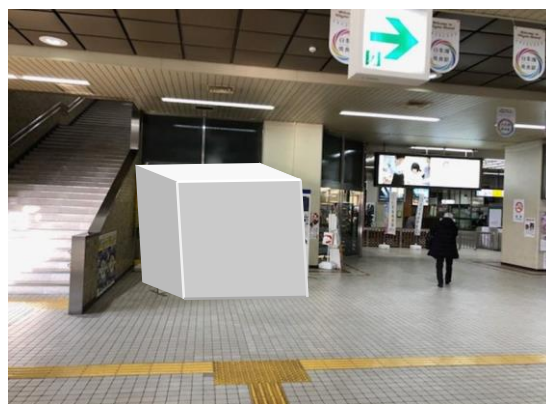
【ジャンボナイフ&フォーク 概要】

もともとは燕市井土巻地内の旧観光施設の店内モニュメントとして展示されていたもので、同施設の閉店に伴い、燕市が譲り受けました。2019 年 3 月末までは、燕三条地域の発信のために「燕三条地場産業振興センター」の 1F エントランスホールに展示していました。

燕市内で生産されている金属洋食器と同様にステンレスで作られ、ナイフは長さ 4m で重量 98 kg、フォークは長さ 3.8m で重量 78 kg。それぞれ通常のナイフやフォークの約 1000 本分に相当するステンレスを使用しています。



「ジャンボナイフ&フォーク」



設置位置

本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 商工振興課：浮蓮・長谷川
電話：0256-77-8233（直通）